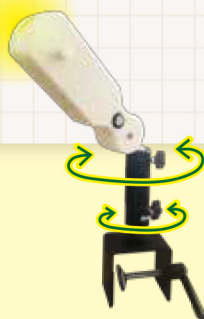


テントウ ボウシくんが 選ばれている理由

- 1 起き上がりをセンサーがお知らせするので、**床に足をつく前に離床を介助できます。**
- 2 センサーの 感知エリアを絞り、**必要な反応だけを感知**します。
設置は簡単、しかも安価です。
- 3 一度反応してから、次の反応までの無反応な時間を設定することで、連続した感知による **煩わしさを軽減** します。
- 4 センサーが反応したことを **光でお知らせ**。目で確認できます。
- 5 ベッドのヘッドボードや脚、**さまざまな場所に設置** ができます。

360度回転します。
足元に設置も可能！



その他の商品

「SOS ボタン コールシステム」

ベッド脇に置いて緊急時コール
⇒施設内やご家族で介護が必要なときに。



介護者の呼び出し又は緊急状態をお知らせします。力の弱い方でも押しやすい設計です。無線なので置き場所を選びません。

※無線タイプのみとなります。受信にはスマートフォン、ルーターなどの専門機器が必要です。

「ドア開閉感知 コールシステム」

ドア・窓に設置
⇒徘徊防止、不審者の侵入防止に。



施設内だけでなく、ご家庭でも使える！徘徊ボウシ、転落防止や不審者の侵入防止に！ドアや窓に簡単に設置でき、開くと感知するシステムです。日中など、感知しない時間を設定することができます。

※無線タイプのみとなります。受信にはスマートフォン、ルーターなどの機材が必要です。

お問い合わせ

株式会社 秋田テクノデザイン

TEL 018-853-4215 FAX 018-853-4216

<https://akita-techno.com/>

介護が必要な方の離床状態を感知

テントウ ボウシくん

離床時の転倒
転落事故の防止に！

ベッドガードへの
挟まれ事故の防止に！



介護士さんの声から生まれました！ テントウボウシくん

認知症などの患者さんを介護するときに防ぎたいのが「転倒・転落」の事故です。「テントウボウシくん」ならベッドから離れようとした時点で動作を感知してお知らせするので、素早い介助ができます。



1 ベッドのヘッドボードや柵などに設置します。設置も簡単です。

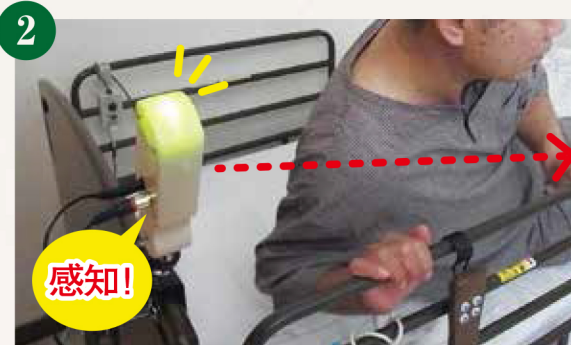


3 点滅して、ナースコールの呼び出し、またはスマートフォンなどにお知らせします。

Q&A

Q. センサーマットとの違いは？

A. マットだとすでに立ち上がっていたり、マットをまたいだりする場合があります、転倒の危険性が高くなります。「テントウボウシくん」は、床に足をつく前に現場に駆けつけることができます。



2 離床動作に入った時点で、赤外線で感知します。
感知範囲：前方約3m、幅約40cm

設置方法

◎有線か無線かを選べます！

有線 ナースコールで通知を受けるタイプ。ナースコールと併用する場合は、中継ボックスが必要です。ご使用のナースコール接続端子を連絡いただいた上でご用意いたします。

無線 スマートフォンで通知を受けるタイプ。無線環境調査後に機材の見積をいたします。

※離床センサーは無線・有線のタイプをお選びいただけます。
無線タイプの場合は、受信のために専用機材が必要です。

Q. 介助作業時にセンサーが反応することはありますか？

A. オプションとなりますが、センサーの一時停止ボタン付きのタイプもございます。

病院で

- ① 麻酔により意識がもうろうとしているときの転倒。
- ② 認知症患者の入院時の転倒・徘徊。
- ③ 食事制限のある糖尿病患者が空腹に耐え切れず、こっそり売店へ買い物に向かう。



介護施設で

- ① 認知症患者の転倒・徘徊。
- ② 夜中トイレに向かう間に転倒したり、寝ぼけて階段を踏み外す。
- ③ 施設の窓から転落。
- ④ 窓から中庭に抜けだそうとして、側溝に転落。
- ⑤ 車いすに自力で移ろうとして転倒し、目を負傷。
- ⑥ トイレから部屋に戻る際に、目まいによる転倒。



テントウ
ボウシくんを使えば、

これらの危険が回避できます。

Q. コールを受けるスマートフォンの月額料金は必要？

A. シムフリーなのでランニングコストはかかりません。外線通話には別途、契約が必要です。